

岩手県のリンゴ園地に生息するカブリダニ類

【 1 成果概要】

- (1) 岩手県内 16 か所のリンゴ園地を 2 年間巡回し、カブリダニ類(図 1)の生息状況を調査しました。
- (2) その結果、岩手県内のリンゴ園地に生息するカブリダニ類の主要種は、ケナガカブリダニ、フツウカブリダニ、およびミヤコカブリダニであることが明らかとなりました(表 1、図 2)。
- (3) これらのカブリダニ類は、リンゴの重要害虫である“ハダニ類”を食べてしまう、いわゆる“天敵”です。
- (4) 今後、当研究室では、これらの“天敵”もうまく活用しながら、リンゴの害虫を防除する技術を開発する予定です。

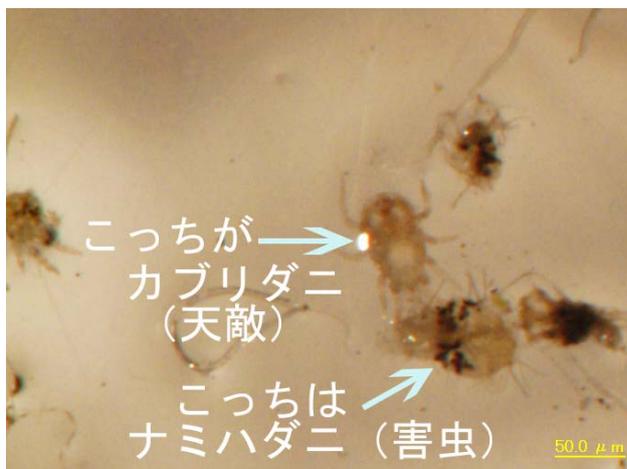


図 1 ナミハダニを食べるカブリダニ

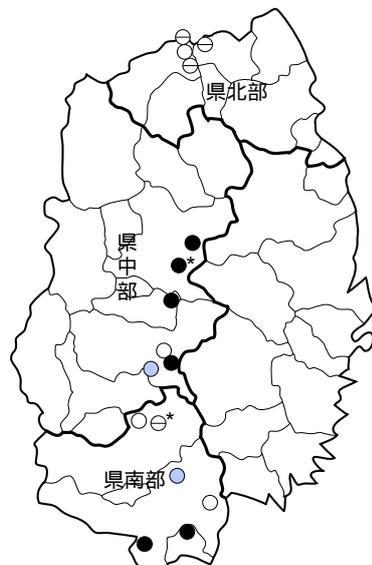


図 2 調査地点と、生息が確認されたカブリダニ類
図中のマークは以下の通り、確認されたカブリダニの種を示しています。

- : ケナガカブリダニのみ ⊖: ケナガカブリダニ+フツウカブリダニ
- : ケナガカブリダニ+ミヤコカブリダニ
- : ケナガカブリダニ+フツウカブリダニ+ミヤコカブリダニ
- *: キタカブリダニの検出された地点には、*を付けて示しています

表 1 カブリダニ類の発生状況

	ケナガカブリダニ	フツウカブリダニ	ミヤコカブリダニ	キタカブリダニ	雄および幼若虫
採取個体数	309	202	76	2	155
個体数比率 ^{a)}	52.5	34.3	12.9	0.3	-
検出園地率 ^{b)}	100	62.5	50.0	12.5	-
優占園地率 ^{c)}	56.3	31.3	6.3	0.0	-
(地域別)					
県北部	50.0	50.0	0.0	0.0	-
県中部	66.7	33.3	0.0	0.0	-
県南部	66.7	16.7	16.7	0.0	-

- a) 個体数比率: 雄および幼若虫を除く(総個体数(n=589)に対する比率(%))
 b) 検出園地率: 調査園地数に対する、当該種の生息を確認した園地の割合(%)
 c) 優占園地率: 調査園地数に対する、当該種の割合が一番高い園地の割合(%)

【 2 留意事項】

調査は 2010 年および 2011 年に、図 1 に示した地点を 6 月～9 月の期間、月 2 回巡回して新梢葉 50 枚を採取し、ブラッシングマシンで払い落とされるカブリダニおよびハダニ類を実体顕微鏡下で観察しました。また採取されたカブリダニ類の雌成虫はプレパラート標本を作製し、種を同定しました。